

長野県軽井沢町議会

議会だより

No.121

平成30年

12月

会 議

軽井沢

KARUIZAWA



軽井沢町議会 🔍 検索

表紙：読者の方からの応募写真です
(表紙のことばは23ページ)

2 条例改正案を提出

3 軽井沢病院への提言書を提出

4 こどもタウンミーティングを開催

6 議会とまちづくりを語る会

12 一般質問 町への提言!

議会が提案した 条例改正案を可決

公の施設の指定管理者の指定の 手続き等に関する条例

総務常任委員会が研究テーマと定めた
指定管理者制度に関する条例改正案を提出しました。

指定管理者制度に関して、指定管理者を選定する際の制度運用面の改善をはかるため、視察をおこなうなど研究した結果、選定委員に外部の知識経験者を加えることにより、高い透明性を確保する必要があることから、条例の一部改正をおこなう議案を提出しました。

改正のポイント

選定委員に知識経験者を

「指定管理者選定委員会」の選定委員は、これまでは副町長や、担当課長等、町の職員のみで構成されていた。



「指定管理者選定審議会」と名称を改め、委員に外部の知識経験者を加えることで、選定における、より高い透明性を確保することができる。

活動の記録

平成29年

11月【視察研修】

福岡県福岡市

官民協働事業(PPP)

について

平成30年

2月【視察研修】

小諸市

指定管理者制度の概要

について

・ガイドラインに

ついて

・利用者アンケートに

ついて

6月【視察研修】

岩手県紫波町

オガールプロジェクト

(官民連携事業)の概

要について

8月【懇談会】

条例改正について町と

懇談

10月【懇談会】

条例改正について町と

懇談

一口メモ

「PPP」とは…「Public Private Partnership」(パブリック・プライベート・パートナーシップ)の略です。官民連携の意味で、官民が連携して公共サービスの提供を行う手法のことです。

軽井沢病院に関する 提言書を提出



自治体病院での医師不足が続いている中、町内の高齢化率は31.4%（平成30年）であり、医療ニーズはより一層高まることが見込まれます。このような状況をふまえ、研修会への参加や関係者からの聞き取りをおこなったほか、先進地の視察等を実施し「軽井沢病院の経営に関する提言書」を町長へ提出しました。

軽井沢病院の経営に関する提言（要旨）

(1) 医師確保の順守

信大・東大連携協定の一環として寄附講座が開設されたことにより、「常勤の内科医師2名が新たに赴任される」と議会に説明したとおり、医師の確保を順守されたい。

(2) 事務長をはじめとしたスタッフの長期任用

「病院を支えていく」という意志と経営に関する知識の両面を持ち合わせた事務長の長期的な任用が必要である。あわせて病院運営の専門的知識を持つ人材の採用を望む。

(3) 病床利用率の向上

転院患者の積極的な受け入れや、訪問看護との連携の中から入院患者の受け入れをできる限り進めるよう求める。



(4) 地域包括ケアシステムの中核としての機能強化

町民の日常に寄り添う病院として、地域包括ケア病棟について検討すべきである。

(5) 病院との連携強化

病院開設者である町長と、さまざまな立場のスタッフとの意見交換会の定期的な開催を求める。

活動の記録

平成29年

10月【視察研修】

佐賀県太良町立病院

11月【アンケート調査】

「議会とまちづくりを語る会」にて

12月【勉強会】

病院事務長と「病院新

改革プラン」について

意見交換

平成30年

3月【懇談会】

病院長と軽井沢病院に

ついて懇談

5月【視察研修】

神奈川県三浦市立病院

愛知県東栄町立病院

6月【視察研修】

飯綱町立病院

信濃町立信越病院

7月【視察研修】

佐久穂町立千曲病院

8月【懇談会】

長野県健康福祉部長と

の懇談

9月【懇談会】

公的病院医師との懇談



「地域包括ケアシステム」とは…高齢者の方々が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療や介護などの生活支援が地域の自主性や主体性に基づき地域の力を活用しながら高齢者を支えていくシステムのことです。



こどもタウン ミーティングを開催



10/3

中部小学校6年生



中部小学校 6年 高見澤 愛衣さん

議会の仕組みや役割についての説明を短めにまとめて、「ワークショップ」の話し合いをもっと長く行ってほしかったです。

東部小学校 5年 鈴木 穂香さん

軽井沢の「好きなところ、気になるところ」では、意見を聞いて大きな建物を作るよりも自然を豊かにするという意見に同感だった。

西部小学校 6年 南雲 遥さん・小須田 杏樹さん

交通事故などが多く町外からの車も多いので通学路などの安全をもっと確保してほしいです。

10/9

西部小学校6年生



選挙権が18歳以上へ引き下げられ新しい有権者が誕生したことにより、「出前授業」として議会による学校での主権者教育が全国各地で行われています。軽井沢町議会では、議会とはどんなところなのか知ってもらい、地域のことを考えたり、議論する面白さを感じてもらおう催しを「こどもタウンミーティング」と名付け、町内3小学校で開催しました。

10/4

東部小学校5年生



最初に議会とはどんなところなのか、画像を使って議員の役割や議場の様子、行政の仕事が決まっていく仕組みを紹介しました。後半では「軽井沢の好きなところ・気になるところ」を紙に書いてもらったあと、発表しました。自然が豊かなところが好きだけど、色々なお店もほしいという、同時に解決するのがちょっと難しそうな課題も見られました。

時間が足りず議論を深めるところまでいかなかったのが反省点ですが、今回の試みを活かして、子どもたちの触れ合いの場を今後も増やしていければと思います。

新春

第2回 議場コンサート

かぐら

神楽鑑賞会

平成31年1月11日（金）

議会では、親しみのある議会をめざし、より多くの住民の方に議場においでいただこうと今回は「太々神楽」鑑賞会を企画。30名の方にお越しいただきました。



来場された方に
感想をうかがいました

古くからの伝統が
残っているのは
うれしいかぎりです。
塩沢 男性



本会議場で観賞会を
おこなうアイデアは、
ユニークでとても良いと思いました。
また、神楽を観るのは初めて
だったので、とても興味深く
楽しい時間でした。
パキスタン 女性

初めて議場に来ました。
本会議では前後の流れが
わからないので、聞き取
りにくかったです。
借宿 男性



語ろうあなたの思い



後日、皆様からお聞きした内容を町側に質しましたので、その結果の一部を掲載いたします。

「議会とまちづくりを語る会」より

今回は10月29日馬取公民館、30日借宿公民館、31日くっかけテラスの3会場で開催しました。

(広聴の幅を広げるための試みとして、30、31日は午後1時から開催しました。)

この語り合ひの場合は、議会活動の様子を地域に出向いて住民の皆さんに報告・説明し、議会や町に対する意見や提言を直接お聞きして、政策立案へとつなげていくことを目的としています。

防災は

問 防災行政無線デジタル化により、聴き取りづらい対応策として、戸別受信機等導入の考えは。

総務課長 電波法の改正によりアナログから

デジタル方式への工事を実施しているもので、聴き取りづらい場所への対応は、メール配信サービスや防災無線電話応答サービスを実施し情報伝達手段の多様化を図ってきた。戸別受信機は、導入に向け



脱出救助訓練

検討している。

問 防災訓練は、浅間山噴火を想定してのものであるが、地震災害時の訓練をしたらどうか。

総務課長 過去3回の

実施状況は、平成26年度に台風の接近に伴う大雨を想定したもの、平成28年度と今年度は、浅間山の噴火活動レベルが平成27年6月からレベル2であったため浅間山の噴火を想定したものであった。また、平成28年度には県の地震体験車を会場に用意し、地震を体験してもらった。近年は想定していない災害が発生していることから、今後は土砂災害や地震を想定した訓練も織り交ぜながら研究していきたい。

問 観光客・別荘客に対する災害時の案内は検討されているか。また、エリアメールを利

用する方法もあるのではないか。

総務課長 有事の際は、防災行政無線、メール配信サービス、町ホームページ、広報車による巡回広報、緊急速報メール等あらゆる手段により迅速に情報伝達する体制となっている。また、エリアメールは、区域内の携帯電話やスマートフォンに一斉に知らせる仕組みがすでに整っている。

問 公民館の公衆電話は、避難所開設時に必要とのことで撤去せず設置している。利用者がほとんどいない状況なので町で維持費を負担できないか。

総務課長 避難所を開設するにあたり、公衆電話の設置が必要条件とはなっていない。公衆電話の設置は区で判断してほしい。現段階で維持費を町が負担する考えはない。



借宿会場



馬取会場



くつかけテラス会場

3会場で47名の参加者がありました。

上水道は

問 馬取地区の水道の水圧が低い。夏以降さらに水圧が下がっているが。

上下水道課長 馬取地

区等への安定給水のため成沢配水池を整備してきた。馬取消防団詰所付近で毎日水圧を測定しているが配水池ができる前に比べ数値は上がっている。また、

夏もさほど水圧の低下は感じなかったと聞いているが、水圧が低い状況など感じたら連絡してほしい。

役場手続きの簡略化を

問 役場で各種手続きの際、窓口が分散化されていて大変だ。一例として死亡時一箇所ですませることができると設置するなど、手続きの簡略化はできないか。

総務課長 平成29年度の組織改革により窓口のワンストップ化を実施してきた。事務手続きの簡略化として「死亡時に特化した係の設置」については市レベルの大きな自治体では考えられるが、町の規模では難しい。現在、町では死亡時の手続きが必要な担当係のリストを渡しているが先機関での手続きもある

ことから1箇所での対応は難しい。

インフラ整備は

問 馬取・上発地間の峠部分の道路に歩道がない。馬取地区には文化財指定のお地藏さまもあり、これらを生かした観光ルートを作るためにも歩道を設置できないか。

地域整備課長 馬取区から石仏群までは歩道が整備されている。しかし、その先の峠部分については地形等の理由で歩道の整備計画はない。今後も交通量の推移等見極めながら検討したい。

問 馬取バス停から駒形神社前の農道を突き当りまで全面舗装してほしい。

地域整備課長 平成30年9月に農業委員より全町の農道・水路等の要望を取りまとめ提出してもらった。今後、

提出された結果をもとに優先順位と工事箇所を決めていきたい。

問 道路・水道などインフラ整備が懸念されるが町はどのように考えているか。また、整備計画に漏れはないか。

地域整備課長 道路については、重要性・必要性を十分認識している。整備計画は路面状況調査の結果に基づき、補修箇所の優先順位を決め整備している。また、平成32年度に再度路面状況調査及び路面

下空洞調査を行い、この結果により再度優先順位を付け整備計画の見直しをしたい。

上下水道課長 水道について、漏水が頻発している場所を重点的に、また、住宅が増え水需要の増加している地域の水道管を大きな口径に変更している。水道管の工事は、年間1・5〜2kmを地域バランスを考慮しながら布設替えしている。平成22年度に作成した水道ビジョンの改定を来年度



この先に歩道がないの？

予定している。その中で現在の資産状況を見直し、整備計画自体も見直したい。

防犯カメラの設置を

問 防犯カメラを設置したいが、小規模な区では費用の捻出が難しいので町負担で設置できないか。

総務課長 防犯カメラを各区へ設置すること



防犯対策として

213地ナンバーは

問 軽井沢ナンバーについて再度トライしてみたらどうか。

総合政策課長 ご当地ナンバーについては登録台数10万台という条件のみだったが、「地域住民の具体的なニーズ」や「地域振興等における活用方策の明確化」が追加された。今後については、民意による強い意志のもと佐久地域が一丸となること

が絶対条件で、行政主導ではなく、あくまでも民意の高まりがあつて、実現に向けた取り組みを行うことになる。

樹木の枝切りは

問 道路にはみ出した樹木の伐採について、町はもっと積極的に所有者に働きかけてほしい。

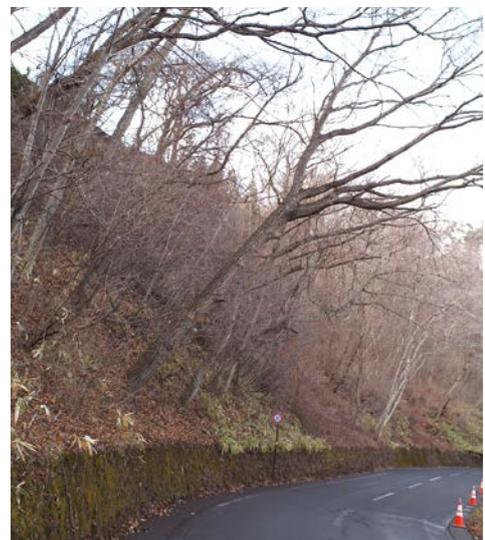
地域整備課長 一般的

な対応は法務局の土地登記簿により所有者を調査し、文書で伐採の依頼をしている。なお、常任者などについては訪問し樹木伐採のお願いをしている。枝の伐採や倒木についての周知方法としては、町ホームページ、広報かるいざわ及び別荘等所有者に対しては「風のおたより」「緑のおたより」にも掲載している。

問 具体的な場所の情報を提供してもらえれば働きかける。

答 古宿村中線の石垣から道路にはみ出している枝がある。通学路で危ないので対応してほしい。

地域整備課長 町道部分についての枝払いは実施した。民有地については場所を特定していただければ、所有者を調べ文書により枝払いの依頼をする。



こういう木の管理は？

さらなる住民参加を

問 子育て中や働いている人たちが、もっとまちづくりや地域づくりに参加できないか。また、小さな地区についても話し合う機会があつたらよいと思う。行政は、住民参加を促すなど、もっと住民の方を向いてもらえないか。

トクメモ

総合政策課長 エリアデザイン具現化のためその地域へ出向き意見を聞いている。そういう中で子育て中や働いている人たちに積極的に参加してほしいが時間的に難しい面もあるのではないかと。また、小さな地区についてもということだが町全体をすべて網羅するというのは難しいのではないかと考え、当面はエリアデザインをメイン

一口メモ

「エリアデザイン」とは…軽井沢ランドデザインで22世紀へのまちづくりの参考とするため、町内の特徴的な5つのエリアを対象とした問題提起です。町の22世紀風土フォーラムでは、エリアデザインを参考に地域のイメージアップや活性化を図るため、住民参加に向けた仕組みづくりに取り組んでいます。

に進めていきたいと考えている。

また、住民の皆さんが積極的に参画するという認識を持っていただくことが必要だと考えている。

行政の方で促し方が足りないという部分は反省しなければいけない点であり、今後その点を含め検討していきたい。

サイクリング道路 標識の改善を

問 国道の南側に沿って自転車を表示した標識が建っている。外国人旅行者にこの表示は

自転車通行帯を示すものとの認識があり非常に危険だ。見ると歩道を通行するようにとの内容であるが、日本語表記であり外国人には伝わらない。改善が必要ではないか。現在は

観光経済課長 現在は



なぜこの場所に？

日本語表記だけのため英語表記を加え改善したい。また、自転車を歩道へ誘導する工夫を

するとともにサイクリングマップは英語・中国語・タイ語等で作成しているため、そのマップ上に通行箇所の注意点を加えるなど工夫をしたい。

ウイスキー市姉妹 都市交流は

問 姉妹都市提携20周年記念事業として記念

碑を建てるということではなく、人的交流が大切だと思う。今後どのような交流をするのか。

総合政策課長 人的交

流事業は、お互いの住民が相手の風土・文化を理解し友好関係を深めることが目的であり、永年にわたり首長の相互の交流及び子どもたちの交流を続けてきている。今後についても

子どもたちの派遣交流、両首長による相互の訪問を軸として交流を深めていきたい。なお、

今後は観光連携なども踏まえ協議をしていきたいと考えている。

軽井沢高校の 町立化は

問 県立から町立に戻し中高一貫校にしたかどうか。また、敷地の

所有形態は。

こども教育課長 高校

を町立化した場合、年間4億5千万〜5億円の経費がかかる。また、建物が老朽化していることから別途建て替えるための基金積み立ても必要と考え現時点では難しい。高校受験がなく、早い時期から大学受験に備えることができる中高一貫校は今後の課題として検討する必要もあるかと思うが、中学校の校舎は新築したばかりであり、



伐採のあとは植栽を

今すぐの変更は難しい。高校の敷地は長野県の所有地である。

植栽の条例化は

問 工事等で樹木を伐採したあとに、再植栽することを条例化したかどうか。

環境課長 開発行為や

建築等を行う場合は「自然保護のための土地利用行為の手続き等に関する条例」に基づき、事前に事業内容等

を協議しており、木竹の伐採等を実施するにあたり「自然保護対策要綱」を遵守した形で計画されている。したがって、条例化する考えはない。

少子高齢化 問題は

問 2025年問題をどのように考えているか。

保健福祉課長 町の人口ビジョンによる2025年は、生産世代1人で1・5人の高齢者を支える時代となる見通しである。このような背景の中、高齢者保健福祉計画・第7



これで^{しゃへい}遮蔽効果は？

一口メモ

期介護保険事業計画において、高齢者の人達ができるだけ長く健康で、また、重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が地域の自主性や主体性に基づき、一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の実

つりなる自然 環境の保全を

現に向け取り組んでいる。

問 以前は別荘地だった土地が民間企業の駐車場となった。車の出入りが絶えず、夜間はヘッドライトがまぶしいので敷地境界に植樹をしてもらった。しかし、樹高も低く間隔が

広いため効果がない。自然保護対策要綱は別荘地内の駐車場設置に対して細かな条件がなく環境保全の点で問題がないか。

環境課長 「自然保護のための土地利用行為の手続き等に関する条例施行規則」で有料駐車場については規定されているが、営業を目的としない駐車場については条例に基づく協議は不要となっている。しかし、協議を必要と

しない案件でも「自然保護対策要綱」の基準は当然遵守してもらう。現場を確認したので事業者に対し改善の働きかけをしたい。

なお、近年は別荘地等に同様な駐車場の設置が見受けられるので、良好な別荘環境保全のためにも、何らかの対策が必要と考えるので研究していく。

問 別荘地内での自然環境の保全についての要望が以前からあった。しかし、現在もこうした要望等がやまない。長期的な視野に立った施策・指導が不十分ではないか。

また、子どもたちへの環境教育をもっと積極的に行われない。
環境課長 町は豊かな自然環境を背景に、保健休養地として、伝統と優れた自然を保持するため厳しい規制の自然保護対策要綱を制定

し対応してきた。

自然環境の保全に関心が高い町民等が多いことから、さまざまな意見・要望等が寄せられるが、今後これらを活かしながら長期的な視野に立った施策・指導をしていきたい。

こども教育課長 小・中学校ではカリキュラムの厳しい中、自然を大切に、共に生きる喜びを感じられるよう、いろいろな科目等で環境教育に取り組んでいる。

なお、環境問題については、家庭や地域でも取り組んでほしい。

※議会に対してのご意見をいただきましたので、お答えいたします。

語る会の開催 時間の工夫を

問 今回の議会とまちづくりを語る会は、子育て世代のために昼間の開催にしたとのことだが、午前中に開催してもらえると子どもを送ったあとに参加できる。また、ランチミーティングだと出やすい。

答 来場者の方のご都合は個人の事情によりさまざまだと思います。今後も幅広い広聴活動を目指して時間を工夫しながら開催したいと思います。

ランチミーティングも開催すれば楽しそうだと思います。そのようなご意見がたくさん出てきたら考えたいと思います。

議会って どんなところ？

議会Q&A

とかくわかりづらく、とっつきにくいイメージがある議会ですが、このコーナーでは議会の基本的なしくみをわかりやすく解説しながら、皆さまの疑問にお答えしていきたいと思えます。

Q1

**「議会とまちづくりを語る会」とは
なんですか？**

A

一般的には「議会報告会」といわれることが多いのですが、軽井沢町議会では「議会とまちづくりを語る会」と呼んでいます。各地区の公民館などへ議員が出かけて行き、集まった地域の皆さんに対して、議会の活動の様子を議員が直接説明する会です。また、まちづくりや困りごとに関する意見や要望をお聞きして、そのことについて話し合ったり、いまどんな問題があるのかをよく知ることで、問題の解決につなげていくことも、大きな目的の一つです。気軽にお話できる雰囲気づくりにつとめています。ぜひ一度ご参加ください。

Q2

**どうすれば出席
できますか？**

A

3月と9月の定例会議の後、それぞれ3会場、計6会場で開催しています。所要時間は約2時間です。もちろん町民以外の方でも、どなたでも参加できます。開催場所や日時は議会だよりや新聞折込で事前にお知らせしています。詳しくは議会事務局(45-8910)までお問い合わせください。



Q3

**本会議や委員会の
傍聴はできますか？**

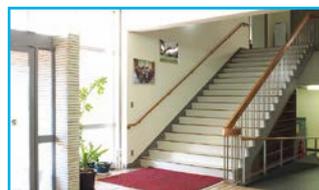
A

議会に関する会議は原則としてすべて傍聴することができます。本会議場の定員は45人(一般席)です。あらかじめ住所・お名前を受付票に記入してください。携帯電話の電源は切ったり、飲食しないことなどいくつかの注意があります。写真撮影等する場合は、事前に議長の許可が必要です。また委員会を傍聴するときは、事前に委員長の許可が必要です。詳しくは議会事務局(45-8910)までお問い合わせください。会議の開催日程は新聞折込や軽井沢町議会ホームページでお知らせしています。

本会議を
傍聴して
みませんか



役場庁舎北側の玄関を入ります。



入ってすぐ左側の階段を上がります。



ここが傍聴席です。



ここで受付し、奥の階段へ。



3階へ上がります。

一般質問

町への提言!!

軽



成人式会場にて

1日目 12月3日

一般質問

横須賀 桃子 (13 ページ)

- 校外でのタブレットの貸与を進め、全ての子ども達にタブレット学習を

川島 さゆり (14 ページ)

- 住民を巻き込み、環境教育や啓発活動を
- 多言語による避難所運営を
- 軽井沢版 SDGs は

内堀 次雄 (15 ページ)

- 環境基本計画の策定は
- 廃プラスチックの削減に向けて
- スポーツ推進計画の策定の進捗状況は

利根川 泰三 (16 ページ)

- 思い切ってインフラの代表と言える道路整備を大々的に行えないか
- 歩道と自転車道の管理は
- ビーコン（近距離通信技術）の活用は
- 旧駅舎記念館の活用は
- 今後の発地市庭の計画は

2日目 12月4日

一般質問

寺田 和佳子 (17 ページ)

- 発達障がい児支援の新たな取り組みは
- 認可外保育施設の無料化は

土屋 浄 (18 ページ)

- 教員の過重労働の軽減を図れ
- 軽高の「存続」ではなく「魅力化」を

佐藤 幹夫 (19 ページ)

- 当町所有の建築物について、アスベスト含有調査を実施したか

西 千穂 (20 ページ)

- オープンデータに関する導入検討結果は
- 情報収集の方法は
- 広報広聴戦略は

一問一答で町側答弁も含め1時間以内となっています。
内容に関しては要約して掲載しています。
議事録は議会ホームページで閲覧できます。



軽井沢町議会 🔍 検索



横須賀 桃子

校外でのタブレットの貸与を進め、 全ての子ども達にタブレット学習を

こども教育課長

セキュリティが確保できれば考えたい

問 小・中学校でタブレット学習が始まるが、サポート体制と準備は。 **こども教育課長** 電子機器トラブルの発生時でも授業に支障がないようバックアップ体制の準備とタブレットの習得支援を教員に対して行う。

問 教員への支援は教科ごと行うべきだが。 **こども教育課長** そのように考えている。

問 タブレットと電子黒板を連動する学習はいつから実施するのか。 **こども教育課長** 先生が電子機器の使用方法を習得したい進めたい。

問 歴史と国語など他教科を連動させて学ぶ学習法も行うべきだが。 **こども教育課長** まず

一口メモ

問 さまざまな理由から通学できない児童・生徒の家庭学習のため



タブレット学習で効率の良い学びを!!

に校外でのタブレットを貸与できないか。 **こども教育課長** データなどの安全性が保障されたら考えたい。

問 町では「子ども一人ひとりの生きる力を伸ばしたい」と目標を掲げている。苦しんでいる子どもに必要な支援とは何か、との発想で考えるべきだが。 **こども教育課長** 検討していく必要がある。

問 以前からの課題に対して、これから検討するのでは遅すぎるが。 **町長** タブレット教育は試行錯誤中である。

問 「教育」に「テクノロジー」をかけた合わせたタブレット学習に期待する効果とは。 **こども教育課長** 自ら行動し自分の意見を説明でき、他者の意見も聞き入れる力の習得だ。

く中で身につけていく必要のある技術である。 **問** 様々なデータ収集が容易になるが。 **こども教育課長** 学習に対して活発になったかなど数字に出ない部分での調査も考えたい。

問 教員の負担軽減のため、お便り等を電子的に発信してはどうか。 **こども教育課長** 今後考えていきたい。

一口メモ 「プログラミング教育」とは…子どもの理論的思考力や問題解決能力を育むとともに、コンピューターが浸透した社会で生きていくために必要な能力を向上させるための新しい教育のことです。

住民を巻き込み、 環境教育や啓発活動を



川島 さゆり

環境課長

わかりやすく趣向を凝らした環境教育、
啓発活動をしていく

問 災害情報の多言語
化、多言語標識、通訳
ボランティア確保は。
総務課長 町ホーム

多言語による 避難所運営を

問 海洋プラスチック
ごみによる食物連鎖の
環境教育等の推進は。
環境課長 環境省「プ
ラスチック・スマー
ト」キャンペーンに当
町の取り組みを登録し、
国内外に情報発信して
いる。エコバッグを配
布し、レジ袋削減に取
り組み、海洋ごみ対策
につなげる。今後も住
民を巻き込み、わかり
やすく趣向を凝らした
環境教育、啓発活動を
検討、実施していく。
問 レジ袋有料化やマ
イボトル推進は。
環境課長 レジ袋有料
化は国の動向を見て対
応。マイボトルは広報
を通じて啓発活動をし
ていく。

ページに観光庁等のア
プリを掲載。全ての指
定避難所に英語と国際
規格の非常口、避難所
サインの案内標識を設
置。今後、韓国語、中
国語の検討余地はある
が、災害対応のWi-Fi
を整備し、対応を進め
ている。通訳ボラン
ティアはボランティア
センターが立ち上がり
ての活動となるので難
しい課題。県多言語
コールセンター電話通
訳サービスを活用する。
町長 74言語105カ
国に対応するポケット
通訳機もあるので購入
し様々な場所に置くこ
とも可能と考える。
問 外国の方に大規模
訓練に参加していただ
き課題を検証しては。
総務課長 なかなか参
加してもらえない状況
なので検討していく。



海洋プラスチックごみは私達の問題です

軽井沢版 SDGsは

問 軽井沢版SDGs
とは。
町長 今後、SDGs
という重要な道標に沿

い、当町にあった形で
進めていく。信大・東
大連携協定の課題解決
も含め、住民や企業も
巻き込んで意識啓発や
SDGs未来都市選定
制度も検討していく。

一口 メモ

[SDGs]とは…2015年9月国連で採択され「持続可能な開発目標」「誰ひとり取り残さない」との理念のもと、貧困のない持続可能な世界を次世代に受け継いでいくことを目標に2030年までに17の目標、169のターゲット230の指標を示し、すでに世界規模で取り組みが始まっています。長野県は「SDGs未来都市」に選定されています。



内堀 次雄

環境基本計画の策定は

環境課長

環境基本条例を制定し基本計画の策定を進めていく

廃プラスチックの削減に向けて

問 G20関係閣僚会議の主要課題と言われている海洋汚染の原因である廃プラスチックの

問 町は今まで「環境基本計画は策定しないが、基本計画に該当するものとして個別の計画を策定している」としてきた。それらの個別の上位計画として環境基本計画を策定し、環境負荷の軽減や生物多様性の消失に対する意識の啓発に努める必要があると思うが、環境基本計画の策定は。
環境課長 今まで策定してきた個別の計画を体系的にまとめていく必要は感じているので、計画策定の前提となる環境基本条例の制定を視野に入れ、既存の条例や例規との関連をふまえ環境基本計画の策定を進めていく。

削減に向けて、会議開催都市として具体的なアクションは考えられないか。

環境課長 広報等を通じてプラスチックごみの削減の協力を呼びかける。レジ袋の削減を視野にスーパー等のごの規格に合わせたエコバッグの各戸配布を考えている。

問 スーパーでのエコバッグ使用はかなり浸透しているが、コンビニ等で利用できる小さくておしゃれなバッグを用意して買い物に行くにはバッグを持っていくという文化を育てる事が必要と考えるが。
町長 海洋汚染の問題は、山国に住む我々も大きな問題と捕らえ、買い物袋の問題もいろいろな角度から考えていきたい。

スポーツ推進計画の策定の進捗状況は

問 軽井沢の保健休養の地としてその自然環境や提供する医療と共にスポーツプログラムを用意が重要と考えるが、その基本となるスポーツ推進計画策定の進捗状況は。

総合政策課長 軽井沢だからこそそのスポーツ推進ビジョンを策定するため、学識経験者や各方面からの知識経験者による準備委員会を立ち上げ、そのビジョンに沿った実効ある推進計画を策定すべく進めている。



コンビニにもエコバッグを

思い切ってインフラの代表と言える 道路整備を大々的に行えないか



利根川 泰三

地域整備課長

来年度は、例年の倍2億円の予算を要求している

問 現在も道路整備は路面状況調査をもとに実施しているのか。

地域整備課長 平成25年に実施した調査をふまえて毎年10路線3kmを整備、順番が変わることもある。

問 大きな公共施設建設計画もない来年度に、思い切って道路整備を大々的に行えないか。

地域整備課長 例年の倍2億円の予算を要求している。

問 住民の最も関心のある道路に、もっと予算を増やせないか。

地域整備課長 財政当局と相談していく。

歩道と自転車道の管理は

問 歩道清掃の地元との協力は増えているのか。

地域整備課長 4団体が増え現在27団体となった。

問 軽井沢バイパスの自転車道改修に合わせ

観光活用面での協議は、

住民課長 改修が行われなかったため協議が進まなかった。

ビートル(近距離)通信技術の活用は

問 風越公園でのビーコンを利用した実証実験による費用対効果は、

地域整備課長 実績107件のダウンロードは小さく費用対効果は小さいものだった。

問 ビーコンを利用した観光案内は、

観光経済課長 実験後検討していない。Wi-Fi機能を取り入れた大型看板を考えている。

旧駅舎記念館の活用は

問 旧駅舎記念館にあった展示物を観光会館から駅に戻せないか。

生涯学習課長 スペースの問題で戻すことは

難しい。

問 旧駅舎記念館がしなの鉄道の駅舎となつたが、駅前交番の移転問題に進展はないのか。

総務課長 代替地などの提案をしているが、移転協議が進まない。

今後の発地市庭の計画は

問 発地市庭の拡張計画は考えているか。

観光経済課長 民間の進出の状況を見た中で考えていく。

問 6次産業化をどのように検討しているか。

観光経済課長 そばの他に、霧下野菜の漬物やイチゴのムース・とうもろこしのプリン・ブルーベリーを使った焼き菓子等も開発している。



交番の移転は？



寺田 和佳子

発達障がい児支援の 新たな取り組みは

保健福祉課長

児童発達支援センターの整備を進める

問 以前、発達障がいに関する一般質問の際、平成30年4月より特別教育支援員兼学習アドバイザーを各小学校に1名増員するとの答弁だったが、増員後の効果検証は。

こども教育課長 発達障がいがあり、特別支援学級に入級している生徒に対して、基本的な生活態度や基礎学習支援が図られ、保護者も満足している。

問 信大では発達障がいを診断できる開業医育成に取り組んでいる連携協定を結んでいる当町なので、定期的な医師派遣あるいは、町内の開業医に対し、信大の取り組みへの参加依頼はできないか。
総合政策課長 医師派遣は、必要に応じ要望を上げることが可能。
保健福祉課長 町内開業医との連携は、今後予定している児童発達

支援センターの整備・療育内容への助言のみについて考えている。
問 発達障がい児支援の新たな取り組みは。
保健福祉課長 平成32年度までに児童発達支援センター整備を進める。

問 国は、この施設が市町村単位で設置困難な場合、広域での設置も可能としている。近隣の状況次第では、当町以外の子どもも受け入れる必要があると思うがいかがか。
保健福祉課長 基本は在住者。事情により受け入れる可能性もあるが、詳細は未定。

問 児童発達支援センターに関する詳細が決まっていない今こそ、町内で同じ役割を担っている「にじいろポケット」のスタッフから施設・運営に関する意見を聴く機会を設けるべきではないか。

認可外保育施設の 無料化は

保健福祉課長 開設にあたり、必要に応じ意見を伺っていきたい。

問 国が無料化の対象外とする保育施設に通

う場合、町として認可保育施設と同様の措置は。

こども教育課長 国の方針に基づく同様の無償化は現時点では検討していないが、園への補助は検討中。



児童発達支援センターが併設される予定の老人福祉センター

教員の過重労働の軽減を図れ

教育長

町の裁量でできる軽減策は進める



土屋 浄

問 小・中学校教員の過重労働が大きな問題になっている。町内の学校現場での超過勤務の実態は。

教育長 実態としては長時間勤務である。最近の超過勤務の数字では、月46時間余(5月)自宅持ち帰りの仕事時間は含まれない。

問 勤務時間の把握は。

教育長 昨年10月からタイムカードでやっている。

問 教員の超過勤務は当たり前のこととすべきではない。先生も子どもたちも授業は楽しいとなつてこそその学校である。先生が疲れ切った表情だったり、授業の準備がろくにできなかつたりでは楽しいどころではない。過労死ラインは月の残業80時間と言われている。「自宅残業」は2時間平均かと思われる。これを含めれば過重労働

は限界である。なぜこゝなつてきているのか。教員増が必須と考えるが。

教育長 小学校クラス担任は平均週26時間、中学校は教科担任が週20時間の持ち時間だが、教員増というのが必須の課題だと思う。子どもに関わる時間が大事である。

問 軽井沢高校敷地内の同窓会館に町が「公設塾」を開設するとなつている。どんな構想か。

子ども教育課長 軽井沢高校が県の高校再編(統廃合)計画の対象となる可能性がある。町外の生徒も通う県立高校だが、人口減に歯止めをかけるためにも必要と考へての設置である。

問 この件では二言目には「存続のため」と

軽井沢高校の「存続」ではなく「魅力化」を

言われるが、それはやめてほしい。生徒は存続の危機にある高校を選ぶだろうか。島根県隠岐の島の島前高校は廃校の危機から立ち直ったが、それは「存

続」ではなく「魅力化」に成功したからである。「塾」と呼ばず「学習センター」としては。

町長 その通りであり、魅力化が主眼である。



「公設塾」開設が予定されている軽井沢高校同窓会館 (正門入って右側)



佐藤 幹夫

当町所有の建築物について、アスベスト含有調査を実施したか

総務課長

吹き付けアスベスト石綿等の使用状況について、建設課において調査を行った

問 18年前、特に平成元年以前に建設された当町所有の建築物について、アスベスト含有調査を実施したか。

総務課長 平成17年に、吹き付けアスベスト石綿等の使用状況について、建設課において各施設の管理者に対し調査を行った。

問 調査結果はどうであったか、また、アスベストの含有が認められた場合、どのような対策を施したか。

総務課長 社会体育館・軽井沢中学校・中央公民館・老人福祉センターが規制の対象となり、社会体育館・軽井沢中学校は取り壊し、老人福祉センター・中央公民館は、アスベストの除去、仕上げ材・下地・石膏ボードの撤去交換を行い、取り切れていない倉庫については、錠をかけ立入禁止とした。

問 当町では、住民や、特に大型施設を持つ事業者にアスベスト対策についての広報・指導を行ったか。

環境課長 建築物等の解体、改造、補修作業を行う場合は、都道府県知事へ届けなければならず、所管する佐久地域振興局環境課、また、佐久建設事務所建築課において、指導を行っているため、町からは特段、広報・指導等をする考えはない。

問 石綿含有調査をする専門の会社が長野県には7社あり、窓口に相談に来られる方に紹介できるような体制をとってほしい。

環境課長 各調査会社を調べ、問い合わせに対し、案内できる体制を整えたい。

問 国では、アスベスト含有調査及び除去に対して支援を行っているが、これは地方公共

団体経由で行っており、町で補助申請を行わないと補助を受けられないが、町でも補助をする考えはないか。

地域整備課長 補助に対しては県でアスベスト調査台帳の整備を行っているので、その結果を見た上で判断したい。



アスベストの除去作業

一口メモ

「アスベスト」とは…天然にできた鉱物繊維で「石綿（いしわた）」とも呼ばれ、丈夫で変形しにくいことから、建材や断熱材などさまざまな工業製品に使用されてきました。しかし、肺がんや中皮腫を発症する発がん性が問題となり、現在では、原則として製造・使用等が禁止されています。

オープンデータに関する 導入検討結果は



西 千穂

総合政策課長

法整備により、オープンデータ化が急務となった

問 オープンデータに関する導入は。

総合政策課長 具体的な手順など、組織内の運用方法を検討し、まずはできることから一つ一つオープンデータ化を推進し、随時検証を行いながら、公開範囲を拡大していききたい。

情報収集の方法は

問 住民が道路などの危険箇所を発見した時、スムーズにその情報連絡をするためにアプリを活用する考えは。

地域整備課長 平成30年9月に運用開始した町の統合型GISを活用し、通報者による現場状況写真の投稿ができるよう研究しているところである。
環境課長 平成31年度よりごみ分別促進アプリを導入する計画で、新年度に予算要求した。

広報広聴戦略は

問 有効な周知方法として、広報紙と連動して簡単に運用できる「マイクロ」（自治体向け広報アプリ）というアプリについての検討は。

住民課長 現在、導入に向け研究している。

問 マスメディアで取り上げられた案件については、町の公式な発表、プレスリリースをおこなうべき、と提案したが、検討結果は。

総合政策課長 町の考え方が正確に伝わることが重要と考え、ホームページ上で公開していく。
問 新宿アルタビジョンで放映されている観光宣伝映像は町民も閲覧できるようにしたほうがよいと思うが。
観光経済課長 ユーチューブの観光協会アカウントで視聴でき

問 庁舎内体制マネジメントについての取り組みに関して、職員が各課から出る町の発信について、担当課だけでなく、全職員が情報

共有できるようにしているか。
総務課長 職員のパソコン上で、これまでの周知情報を一覧で見ることができ、情報共有できている。



オープンデータの取組状況

47 都道府県	1741 市区町村
100%	316 自治体 18%
平成 30 年 4 月 30 日時点	平成 30 年 9 月 17 日時点

軽井沢高校 公設塾開設

少子化にともなう県立高校の統廃合問題において、軽井沢高校の存続を町として支援するため、学力向上を目的とした公設塾を開設することになりました。



5850
万円

(30年度～33年度)

ある。名称は、塾という名前前でよいのかも検討していきたい。留学フェローシップというものが、海外にも留学して学びを深めるというも

問 若者の人口流出につながるともいえるが、軽井沢町に帰って町に還元してもらえるような内容を盛り込んでいくか。

答 大学を出れば、確かに戻ってくる確率は低くなる。戻ってきやすい、活躍できるステージを町でつくっていきたくと考えている。

問 軽井沢高校の教職員との意見交換はどのくらいおこなわれたか。

答 何度かおこなった。未来構想会議を7回ほどおこなっている。

問 隠岐島前高校の場合は、魅力化事業としている。名称も公設塾、塾ということではないのか。単なる予備校ではよくない。事業化するに早すぎるのではないか。

答 いつ廃校になってしまっかわからず、一刻も早く手を打たなければならぬ。魅力化するという観点で取り組む必要は

ので、県では4校が参加している。県教委とも話しているが、地域高校からも留学フェローシップを、という話もあり、軽井沢高校の魅力化へつなげていければと考えている。

軽井沢高校にはグローバルスタディ科がある。そのなかで英語を活かした観光ガイドなど、高校生が活躍していけるようなことも魅力化のひとつではないかと考えている。島前高校をたてなおした第一人者にもこのプロジェクトに参加していただき、指導もいただいている。

問 在校生が公設塾に興味を持っているのか、リサーチはしたか。

答 生徒からのアンケート調査は行っていない。前校長、現校長、未来構想会議、PTA等から公設塾の要望を受けている。今後、どのようなことを公設塾でやればよいか、というアンケートを生徒、保護者に対して12月中に実施する。

問 何人くらいが対象なのか。マンツーマンになるのか。

答 各学年20名くらいで計60名くらいの想定。個々に合わせた対応をしていく。学力だけではない、軽井沢ならではの勉強も実施していく。

エコバッグ購入経費

マイクロプラスチックごみ等による海洋汚染が問題となっています。このような使い捨てプラスチックの削減のため、不要なレジ袋を受け取らないよう全世帯にエコバッグを無償配布することにしました。



440
万円

問 エコバッグは、かなり普及していると思うが、必要なのか。

答 G20関係閣僚会合の関係市町村として、なにができるかということで環境省にも相談した結果、エコバッグを考えた。平成13年に全戸配布したが年数も経過しているのので、今回また計上した。

問 平成13年に配布したバッグはまだ使える状態だが、今回また全戸配布というのは資源の無駄使いではないか。前回配布したものを検証したのか。

答 当時配布したものはかなり使われているので、経年劣化を考え今回また配布したい。

問 レジ袋を使用している店舗に、町として働きかけたほうがよいのでは。

答 町としても働きかけていく。

問 大きなエコバッグより、コンビニ用のものが良いと考えるが、いかがか。

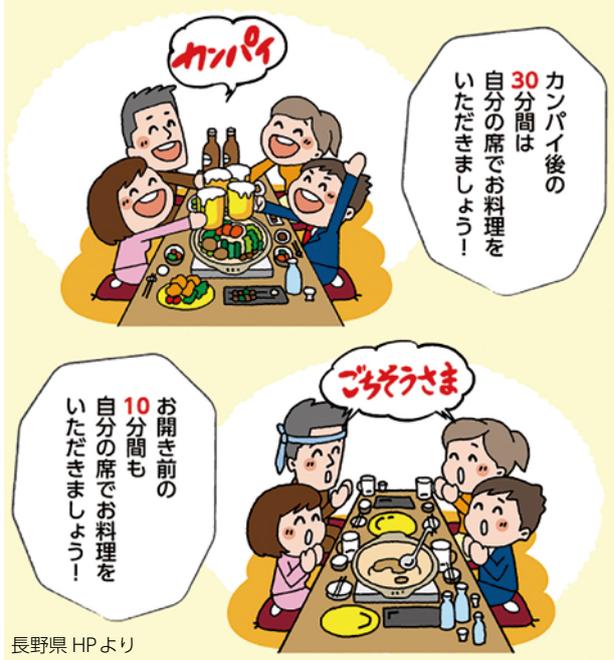
答 再度検証して、どちらのバッグがよいのかを含めてコンビニ用も検討していきたいと考えている。

社会 常任委員会

各種証明の発行

平成31年4月より「マイナンバーカード」を使用すると、コンビニエンス・ストアにおいても各種証明を取得できるサービスが開始されます。

問 取得できる証明は、**住民課長** 町に住民登録していれば、住民票の謄本・抄本、印鑑証明、税関係の証明が、本籍地が町内の方は、戸籍謄本・抄本・附票の謄本・抄本が取得できる。また、本籍地が町外の方については、そちらの市町村でもコンビニ交付を実施



長野県 HP より

3010 運動

ごみの減量化は

ごみのさらなる資源化と減量化を目指し、事業系一般廃棄物のごみ袋の代金が1枚100円から150円に値上がりします。

していて、なおかつ本籍地での事前登録があれば、全国どこのコンビニでも交付サービスを利用できる。

問 ごみの資源化と減量化に向けての具体的な対策とは何か。
環境課長 事業所などへ直接出向き、ごみの資源化の推進や排出方法について細かな指導を行っている。
総務課長 引き続きホテルやレストランなどでの「3010運動」さんまるいちまる等を推進し、食品ロスの削減を図っていく。

一口メモ

請願はこうなりました

〔請願第1号〕 米軍基地負担に関する請願

請願者	趣旨	委員会意見	本会議結果	意見書
軽井沢 9条の会 代表 稲垣 壬午 紹介議員 土屋 浄	全国知事会では、平成30年7月に「米軍基地負担に関する提言」として国に提出している。その内容は 1. 飛行訓練等の速やかな情報提供 2. 日米地位協定の抜本的見直し 3. 米軍人等による事件・事故防止、騒音防止措置 4. 基地の整理縮小、返還促進となっている。この提言に即して政府、国会に対して日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう意見書の提出を求める。	全国知事会の提言を尊重し、意見書提出は必要。	全会一致で採択	全国知事会が国宛に提言した「米軍基地負担に関する提言」（平成30年7月27日採択）に同意し、その実現のため日米地位協定の改定作業に着手されるよう求めます。



「3010運動」とは…宴会時の食べ残しを減らすため、乾杯後30分間は料理を楽しみ、お開き10分前になったら再度料理を楽しみ食品ロスの削減を図る運動のことです。

視察報告

議会運営委員会

議会改革の 全国トップを行く 2つの先進議会を 視察

平成30年10月18日
岐阜県 可児市議会

ここに注目!

- 民意を反映する政策タイムライン
- 常任委員会による代表質問

「4つのサイクル」で議会運営を行い、年間千名以上の市民と



ワークショップを実施している議会。

- ① 議会運営サイクル
議員が替わっても次の議会へ引き継ぎ、議長マニフェストで任期4年間の議会運営方針を毎年定めている。
- ② 予算決算審査サイクル
平成29年に常任委員会代表質問を可能に。決算を分析、現予算に活かし、次年度予算に反映。予算委員会で徹底した議員問

の自由討議、全会一致での提言を市長に通知。

- ③ 意見聴取・反映サイクル
議会報告会や一般質問、常任委員会、各種団体懇談会から抽出、意見を聴取し反映。

- ④ 若い世代との交流サイクル
高校生、ママさん議会等若い世代と交流。

【考察】

議長、委員長が1年任期。改選後には議会のミッションが決まっており、ゴールを逆算して進んでいる。

人口ビジョンと総合計画をリンクさせ課題を判断、議会が計画とからめて審議している。市長が勝手なことできない。二元代表制の議会の役割をしっかりと果たしているところを参考にしたい。

平成30年10月19日
愛知県 犬山市議会

ここに注目!

- 市民フリースピーチ制度
- 議員問討議

定例会会中に全員協議会で、また委員会でも議員問討議に力を入れている。市民参加による議会活動が活発に行われている議会。

- ① 市民フリースピーチ制度

発言は議場において1人5分。市民の意見を全員協議会等で議員問で討議し、議会政策提案に。対象者は年齢不問、幅広い世代から意見聴取ができ市民の政治への関心が高まった。

- ② 議員問討議

一般質問、議案質疑の中から議長がテーマを抽出し、全員協議会で徹底した議員

問討議を実施。

【考察】

毎週一回、市民が議長室に来て自由に意見を発言できる。議会が市民の意見を聞くとするシンボリックな試みだ。議員問討議は、政策につなげなければ意味がなく、住民のニーズや希望を反映できるよう、意見を吸い上げる場を増やしその中の意見を中心に議員問討議をすべきで、その発言が何に結びつかか考え、討議する必要性を感じた。

表紙のことは

特別冷え込んだ12月のある日、木々の枝に樹氷がつく現象が見られました。晴れ渡った空の青と、陽の光に輝く樹氷の白さのコントラストに魅入られてキラリとした冬の空気が表現できればと写真に収めました。四季さまざまな表情を見せる浅間山が間近に迫るこの場所は、家から近いこともあって、よく撮影に出かけています。

(大日向 M・S)

みなさまからの写真のご応募をお待ちしています

議会事務局に応募する旨を、電話またはメールでお知らせください。デジタルデータの送付方法等をご相談させていただきます。

連絡先：軽井沢町議会事務局
メールアドレス：gikai@town.karuizawa.nagano.jp
電話：0267-45-8910

議員懇談会

議会では特定の分野を深く掘り下げる広聴の取り組みとして、町内各種グループ・団体と語り合う意見交換会を開催しています。

議会だよりモニターの皆さん
 平成30年11月13日 18:00～20:00
 役場第2委員会室
 議会だよりモニター7名
 広報広聴常任委員8名



● 議会だよりで議会のことをすべて知るのには難しい。議会傍聴を促したり、開催期日を告知することも必要では。
 ● 「何日にはこんな議案を審議した」などカレンダーのようなものがあると全体の流れを

読者の視点を紙面づくりや効果的な広報活動に活かすことを目的に導入した議会だよりモニター（総勢9名）と2回目の懇談会を持ちました。今回も編集の手法について多くのご意見をいただきましたので、一部をご紹介します。

つかみやすい。
 ● 賛否が分かれそうな事業が提案されたときそれがいつ町から発表されるのか知らされない情報に住民に届いた時にはすでに決まっていることに、もどかしさを感じる。
 ● 発言しているのが誰なのか、わからない。発言内容によっては、誰の発言なのか知りたいたいときがある。
 ● 子どもたちに参画意識を持ってもらうことが大切。ホームルーム等で議会だよりの1ページを使って授業をすすめてはどうか。

● 検討しますという回答に対しては、次の議会でもう一度聞いて欲しい。
 このようなご意見を活かして、さらに伝わる紙面作りに役立ててまいります。

読者モニターからのお便り

昨年引き続き読者モニターをさせてもらっています私ですが、高校までは大阪育ちで軽井沢出身ではありません。子どもの頃は母の実家（今の自宅）が旧軽井沢にあり、毎夏冬に来軽していました。特に夏は普段会えない従兄弟達に会える楽しみもあり、軽井沢へ行くことが待ち遠しかった思い出があります。夏は盆踊りやお祭りがあって子ども時代の私は自然に地元や別荘の人達とともに、楽しんでいました。

その後自宅が軽井沢に移り、自分も三十歳の頃にこちらへ居を移して、消防団や青年部に入り、お祭りや盆踊りの手伝いをさせてもらっています。

この読者モニターの活動はたまに面倒に思う時もありますが、議会だよりをよく読むことにより、議員さん達や住民の方達・行政の考え方への理解が深まり、自分にとっての新しい故郷でもある軽井沢について考える良い機会でもあります。

地方自治は民主主義の教科書という話しを聞いたことがあります。私達モニターの意見がさらにわかりやすい議会だより作りに役立ち、住民の皆さんにとって議会や行政に興味を持ってもらえるありがたいです。

（原文ママ）

一色 圭



編集後記

新年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。議員任期が、残り3月余りとなり、やり残したことがないかと、考えをめぐらしています。

議会だよりの編集委員をしていて、皆様に議会のことをいろいろお知らせしよう、編集をしているかわら、議会でのことを振り返ることができて、自身のために勉強になったと思っています。

今後も議会だよりのご愛読をお願いします。（佐藤）

議長 市村 守
 委員長 押金 洋仁
 副委員長 横須賀 桃子
 委員 柳澤 信介
 川島 さゆり
 佐藤 隆雄
 内堀 次雄

発行／平成31年1月25日
 軽井沢町議会
 長野県北佐久郡軽井沢町
 〒389-0192
 ☎0267(45)8910
 編集／広報広聴常任委員会

軽井沢町議会
 公式ホームページ



印刷／中澤印刷株式会社
 ☎0268-22-0126